第七号書式（第１６条の２第１項関係）裁判上の保証及び仮差押・仮処分解放金の金銭供託の供託書正本

（注）１．供託金額の冒頭に￥記号を記入すること。
なお，供託金額の訂正はできない。
２．副本は折り曲げないこと。

供託書（裁判上の保証及び仮差押・仮処分解放金）

申請年月日	年　月　日	法令条項	年度金第　号

供託所の表示		裁判所及び件名等	裁判所　支部　年（　）第　号　事件
供託者の住所氏名	（代理人による供託のときは，代理人の住所氏名をも記載すること。）	当事者	原告　申請人　債権者　被告　被申請人　債務者
被供託者の住所氏名		供託の原因たる事実	１．訴訟費用の担保　２．仮執行の担保　３．仮執行を免れるための担保 ４．強制執行停止の保証　５．強制執行取消の保証　６．強制執行続行の保証 ７．仮差押の保証　８．仮差押取消の保証　９．仮処分の保証　10．仮処分取消の保証 11．仮差押解放金　12．仮処分解放金　13．
		備考	

供託金額				百	十	万	千	百	十	円

上記供託を受理する。
供託金を　年　月　日までに日本銀行　における供託所口座に払い込まれたい。同日までに払い込まないときは，この決定は効力を失う。
又は
上記供託を受理する。
供託金の受領を証する。
若しくは
上記供託を受理する。

年　月　日

供託官　印

受入書式
上記供託金の受入れを証する。
年　月　日
日本銀行　印

供託金の受領を証する。
年　月　日
法務局
供託官　印

備考　用紙の寸法は，日本産業規格Ａ列４とする。